

## 「研究所の窓」(研究所の活動の紹介)

### CO<sub>2</sub>濃度のラジオ番組への提供

二酸化炭素の濃度・排出量を伝える初のニュース・コーナー TOKYO FM「オメガCO<sub>2</sub>ウィークリーレポート」というラジオ番組を聞いたことがありますか？

TOKYO FMでは、11月6日(土)から、日本で初めて定期的に二酸化炭素の濃度や排出量を伝える環境ニュース・コーナー「オメガCO<sub>2</sub>ウィークリーレポート」をスタートさせました。「オメガCO<sub>2</sub>ウィークリーレポート」は、TOKYO FMで毎週土曜日に放送中のワイド番組「Green Wind」(土曜朝午前5時～午前8時)内、午前6時25分～午前6時30分で放送しています。

当研究所は、11月6日(土)から放送されているこの番組に、研究所で観測しているCO<sub>2</sub>濃度の前週(日曜日から土曜日まで)の平均値(速報値)と10年前の同時期の平均値を応用研究部と基盤研究部との連携で、今後1年間毎週提供していきます。

第1回目(11月6日)の放送は、

『東京FMが独自に集計した、先週1週間、

10月24日から30日までの、東京エリアのCO<sub>2</sub>排出量をお伝えします。

先週1週間に東京エリアで排出されたCO<sub>2</sub>は・・・およそ192万トンでした。

続いて、先週1週間の、東京都環境科学研究所が測定した平均CO<sub>2</sub>濃度です。

こちらは、平均で、398ppm。

排出されたCO<sub>2</sub>は、50年から200年に渡って、大気中にとどまり、地球温暖化に影響します。

いつまでも、空気の澄んだ爽やかな朝を迎えられるようにしたいですね。』

という内容でした。

二酸化炭素などの温室効果ガスは地球の気候を温暖に保つためにはなくてはならないものですが、人間の活動に伴って二酸化炭素の排出量が急激に増加すると、環境に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。二酸化炭素濃度は、産業革命前の18世紀前半には約280ppmでしたが、2000年には約370ppmに達し、このことが異常気象の多発と関連すると考えられています。二酸化炭素の濃度やその推移については、研究所HPに関連項目がありますので参照してください。

環研ホームページ>データ・アーカイヴ>地球環境関連項目

環研ホームページ>研究紹介>公開研究発表会>第9回公開研究発表会

記事へのご意見がありましたら、下記へお寄せください。

発行 東京都環境科学研究所

〒136-0075 東京都江東区新砂 1-7-5

TEL03(3699)1331(代) FAX03(3699)1345

ホームページ <http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/kankyoken/>

印刷 株式会社ヨコタ

登録番号(16)6

2004年12月発行